

授業科目	高齢者支援学Ⅱ				単位	1		
履修	選択	関連資格			ナンバリング	WE10107J		
開講年次	4年	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP5-1			
担当教員	荒木 剛、吉原 悦子、坂巻 路可、納戸 美佐子、山田 志麻、田路 千尋							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>各分野の実務家教員が自らの実践経験を踏まえて、以下の内容について教授する。</p> <p>1. 要支援・要介護状態の高齢者に対する支援方法について解説・実技指導を行う。</p> <p>2. 高齢者施設における多職種連携に基づく支援について解説・実技指導を行う。</p> <p>※西南女学院大学、九州歯科大学、西日本工業大学の3大学による合同授業を行います。</p> <p>※授業は8月28日、29日、30日に実施します(28日:講義3コマ、29日:実習2コマ、30日:演習3コマ)。</p> <p>※講義・演習は、西日本工業大学または九州歯科大学で行います。実習は、高齢者複合施設「ふれあいの里とばた」で行います。</p> <p>※授業の運営上、履修人数は4名とします。希望者多数の場合は、選抜を行います。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1. 保健医療・福祉・工学分野の専門性を活かした要支援・要介護高齢者の支援について説明できる。</p> <p>2. 高齢者施設において利用者と良好な関係を築くことができる。</p> <p>3. 高齢者施設の利用者に対する適切な支援を多職種連携のもとで検討できる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	30	0	70	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)				6		14		
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)				6		14		
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)				6		14		
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)				6		14		
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)				6		14		
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
高齢者施設において利用者支援に必要な情報を的確に把握することができる。また保健医療、福祉、工学分野の専門性を理解し、多職種連携のもとそれぞれの特性を活かした支援を検討できる。				高齢者施設において利用者と良好な関係を築き、支援に必要な情報を把握することができる。またその情報に基づき、適切な支援を検討できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間	

				(分)
1	<p>【九州歯科大学担当】 実務家教員としての実務経験を活かし、以下の内容を教授する。</p> <p>1. 要介護高齢者の口腔内の特徴と口腔機能管理の方法について解説する。 2. 経口摂取の重要性と支援のあり方について解説する。</p>	講義	当該内容についての予習・復習	各 30
2	<p>【西南女学院大学担当】 実務家教員としての実務経験を活かし、以下の内容を教授する。</p> <p>1. 高齢者施設の種類と特徴について解説する。 2. 高齢者施設の利用者とのコミュニケーション方法について解説する。</p>	講義	当該内容についての予習・復習	各 30
3	<p>【西日本工業大学担当】 実務家教員としての実務経験を活かし、以下の内容を教授する。</p> <p>1. 要介護高齢者が住宅及び高齢者施設で安全に暮らせるための配慮ポイントについて解説する。 2. 上記の視点を活かした支援のあり方を解説する。</p>	講義	当該内容についての予習・復習	各 30
4	<p>【3 大学合同による実習】 実務家教員としての実務経験を活かし、高齢者施設における利用者との関わりや支援に必要な情報把握の方法について実技指導を行う。</p>	実習	当該内容についての予習・復習	各 30
5	<p>【3 大学合同による実習】 実務家教員としての実務経験を活かし、高齢者施設における利用者との関わりや支援に必要な情報把握の方法について実技指導を行う。</p>	実習	当該内容についての予習・復習	各 30
6	<p>【3 大学合同による演習】 実務家教員としての実務経験を活かし、把握した利用者情報の整理・分析及び適切な支援方法の検討について実技指導する。</p>	演習	当該内容についての予習・復習	各 30
7	<p>【3 大学合同による演習】 実務家教員としての実務経験を活かし、把握した利用者情報の整理・分析及び適切な支援方法の検討について実技指導する。</p>	演習	当該内容についての予習・復習	各 30
8	<p>【プレゼンテーション】 実務家教員としての実務経験を活かし、利用者支援に関する検討内容や結果の発表について実技指導を行う。</p>	演習	当該内容についての予習・復習	各 30
9				
10				
11				
12				
13				

14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	高齢者施設やその利用者に関する基本的知識及び基礎的なコミュニケーション力を必要とする。			
テキスト	なし			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	適宜、紹介する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	高齢者福祉の現状(特に介護サービス事情)について、新聞や関連雑誌等に目を通し、理解を深めておくこと。			
達成度評価に関するコメント	プレゼンテーションの内容、その他(講義・実習時の態度、PBL時の発言・態度・姿勢)で評価します。			

